

協会けんぽ宮崎支部 ジェネリック医薬品使用状況

令和元年8月作成

《直近の宮崎支部におけるジェネリック医薬品の使用状況》

[新指標によるジェネリック医薬品割合(数量ベース)]

平成31年3月診療分

支部	総合	医科入院	医科入院外	歯科	調剤
宮崎	79.6% (5位)	79.3% (41位)	65.7% (21位)	45.4% (24位)	82.6% (4位)
全国計	75.9%	82%	64.5%	46.1%	78.9%

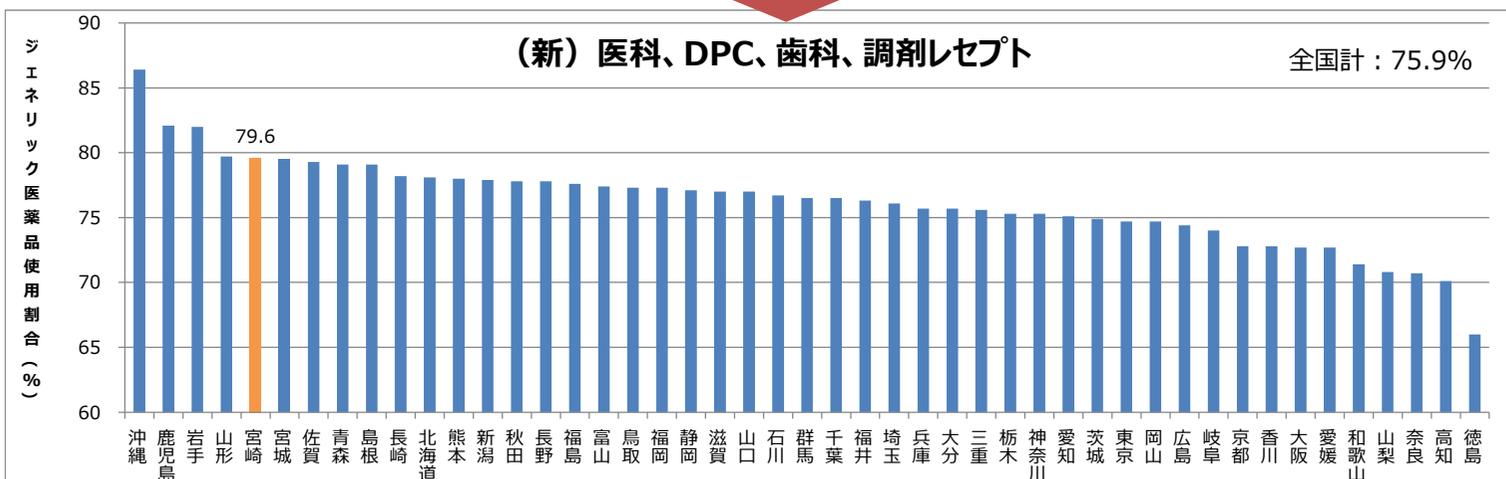
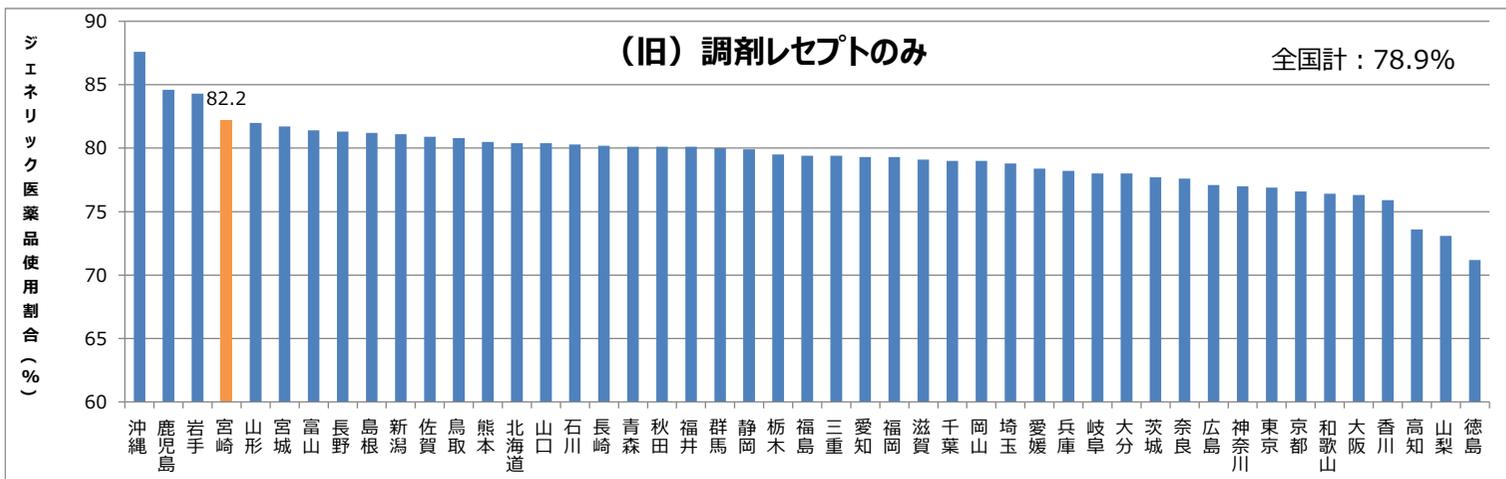
※括弧内は宮崎支部の順位

レポートの使用割合(新指標によるジェネリック医薬品割合)は、「ジェネリック医薬品の数量」を「ジェネリック医薬品のある先発医薬品の数量」と「ジェネリック医薬品の数量」を合計した数量で除して算出しています。そのため、「ジェネリック医薬品がない先発医薬品」の数量は除いています。

ジェネリック医薬品使用割合の集計方法見直しについて

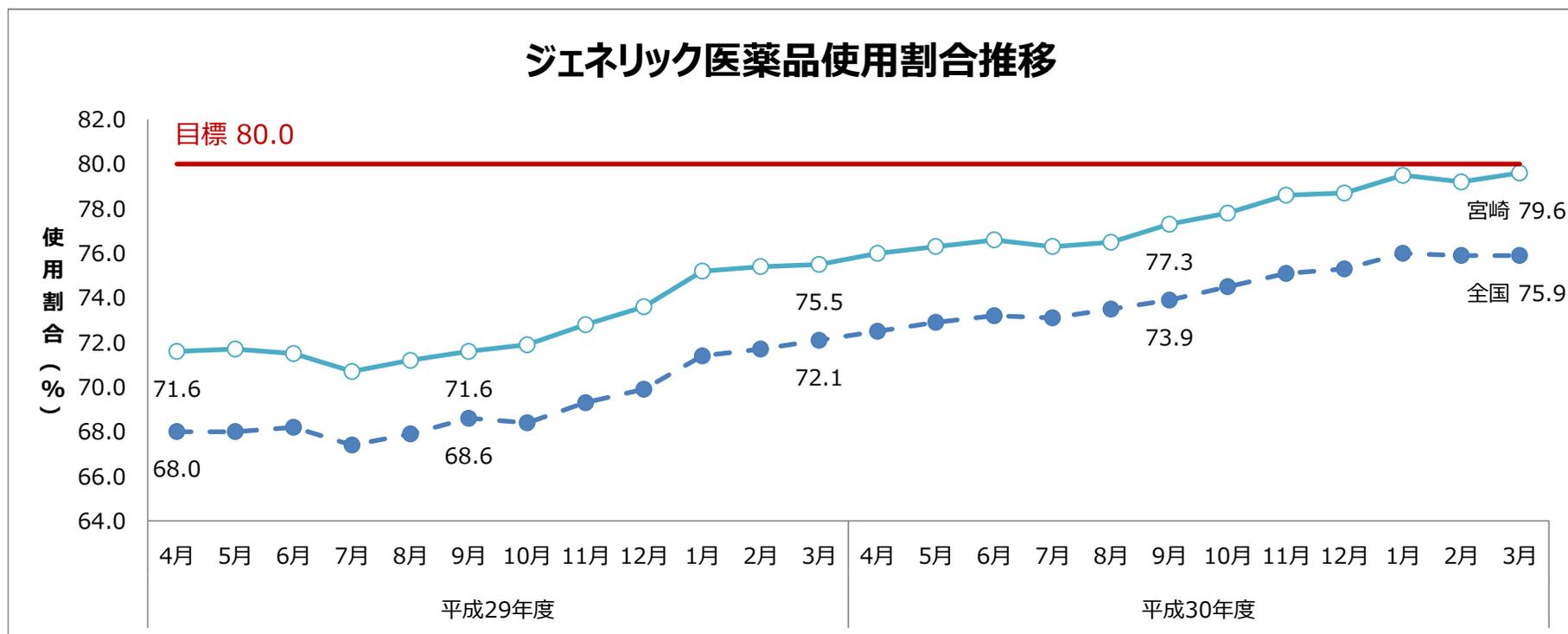
平成30年度までは、ジェネリック医薬品の使用割合は調剤レセプトのデータを対象として集計しておりましたが、平成31年より、医科・DPC・歯科・調剤レセプトを対象とした集計方法に変わります。

平成31年3月診療分



注1. 協会けんぽ(一般分)の医科、DPC、歯科、調剤レセプトについて集計したものである。(ただし、電子レセプトに限る。) 注2. 「新指標による後発医薬品使用割合(数量ベース)」は、[後発医薬品の数量] / ([後発医薬品のある先発医薬品の数量] + [後発医薬品の数量]) で算出している。注3. 「数量」は、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えたものをいう。

協会けんぽ宮崎支部と全国のジェネリック医薬品使用状況(医科・DPC・歯科・調剤)の推移



注1. 協会けんぽ(一般分)の医科、DPC、歯科、調剤レセプトについて集計したものである。(ただし、電子レセプトに限る。)

なお、DPCレセプトについては、直接の診療報酬請求の対象としていないコーディングデータを集計対象としている。

注2. 「新指標による後発医薬品使用割合(数量ベース)」は、 $\frac{[\text{後発医薬品の数量}]}{([\text{後発医薬品のある先発医薬品の数量}] + [\text{後発医薬品の数量}])}$ で算出している。

医薬品の区分は、厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」に基づいて設定している。